



すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和5年 6月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

「校外学習 あ～しなさい、こ～しなさいをやめてみたら…」

校長 森賀 慎一

新年度が始まって、約2か月が過ぎました。コロナが5類になり、マスクのない日常の生活が戻ってくるかと思いきや、マスクがなかなか取れない子どもたちも一定数見られます。ただ、マスクのない子どもたちの表情を見られるのは本当に嬉しいもので、特に笑顔が見られた時にはやっぱりこうでなくちゃ…と心から思います。ぜひご家庭でも、学校ではマスクはしなくても大丈夫だよとお声掛けをお願いいたします。

さて、先日3・4年生の遠足に国営昭和記念公園に行ってきました。西立川駅まで丸ノ内線とJRを乗り継いで、結構な時間をかけて行く行程でした。その遠足の際、引率の先生方と事前にこんな打ち合わせをしました。

○できる限り「あ～しなさい、こ～しなさい」という指示はやめよう。

○その代わりに「後ろから自転車が来ているよ」と情報を与えたり、「電車の中の声、その大きさが大丈夫？」と考えさせる声掛けをしたりしよう。

と確認しました。もちろん、ホームに電車が来た際に線の後ろまで下がる等の、安全にかかわる面では指示をすることはありました。

このようなことを実践してみると、いくつか見え

て来たことがあります。1つは、自転車が来ているという情報もらった子どもたちに反応の違いがあります。さっと端に寄る子もいれば、友達に端に寄るよう声を掛ける子もいました。一方、何の反応も見せない子もいます。ここで声を掛けなくなるのをぐっところえて、見守りました。電車の中での声の大きさに関してもその大きさについて問うと、さっと声のトーンを落とす子とそのまじしゃべり続ける子の両方が見られました。

この違いは何だろうと考えてみると、やはり経験の差ではないかと思います。日常生活の中で、指示を待つ動くことが多いのか、自分で考えて動くことが多いのか…。学校では、「自分で考えて行動をする」ことを重視しています。新しい学校教育目標「自分を見つめ人とつながる」にも、自分で考えることの大切さが込められています。ぜひ、ご家庭や地域での生活の中でも、大人が正しい判断をして子どもたちに指示をするということを減らしていただきたいです。そして、うまくいなくてもいいから、自分で考えて行動する経験を意図的にさせていただき、自分で考えて判断したその行為自体を大いに褒めて価値付けていただきたいと願っています。

ご協力の程、よろしくごお願い申し上げます。